

2026年2月16日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目12番5号
株式会社ビーマップ
代表取締役社長 杉野 文則
(東証グロース:4316)
問合せ先:取締役経営管理部長 大谷 英也
(電話03-5297-2181)

人工ダイヤモンド材料の増産体制を構築

－ 日米間の先端材料供給を見据え、対米供給能力を大幅に強化 －

株式会社ビーマップ（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:杉野 文則、東証グロース:4316、以下「当社」）は、株式会社SpicyCompany（本社:東京都渋谷区、代表取締役:小宮 久、以下「SpicyCompany」）と連携し、米国市場向け人工ダイヤモンド材料の安定供給を目的とした増産体制を構築したことをお知らせいたします。

本取り組みは、米国における先端産業向け需要の拡大および、日本政府が推進する約5500億ドル（約80兆円）規模の対米投資政策を背景に、日米間での戦略的サプライチェーン強化を目的として実施するものです。

■増産体制構築の背景と現状

近年、米国では、先端製造、通信、エネルギー、防衛関連分野を中心に、高耐久・高信頼性材料として人工ダイヤモンド材料の需要が急速に拡大しております。当社およびSpicyCompanyの提携先からも、対米供給を前提とした発注案件が継続的に増加しており、これに対応するため、生産能力の増強および供給体制の再構築を進めてまいりました。

現在、ニューヨーク州所在の米国企業数社への納品が既に進んでおり、対米出荷は実需ベースで拡大しております。

■増産体制構築の狙い

今回構築した増産体制では、

- ・ 米国市場向け出荷を想定した生産能力の拡大
- ・ 長期供給契約を前提とした安定供給体制の確立
- ・ 品質管理および供給プロセスの高度化

これらを実現することで、日米間の産業連携を支える基盤材料供給の一翼を担う体制を整えました。

■今後の見通し

当社は今後、SpicyCompanyとの協業のもと、米国市場を主軸とした人工ダイヤモンド材料供給を本格化させるとともに、現地パートナーとの連携を通じて、供給網および販売体制の拡充を段階的に進めてまいります。

本事業は、単なる材料供給にとどまらず、日本発の先端材料技術を米国市場へ展開する戦略的取り組みとして位置づけており、当社は引き続き、グローバル市場を見据えた事業成長を推進してまいります。

【当社概要】

会社名：株式会社ビーマップ

代表取締役社長：杉野 文則

証券コード：4316（東証グロース）

URL：<https://www.bemap.co.jp/>

事業内容：コンテンツインフラ及びそれを活用したコンテンツの企画・開発・運営から構成される
モバイルシステムインテグレーション事業

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ビーマップ 経営管理部

電話：03-5297-2263

お問い合わせフォーム：<https://www.bemap.co.jp/contact/contact.php>

当社 HP：<https://www.bemap.co.jp/>

ビーマップは、交通、通信、メディア、流通、外食と
社会のインフラになるサービスを高度な技術で支えています。

